

今後の日程

(8月)

- 20～21 第48回全国高校生集会・第60回全国青年集会 (鳥取市)
- 22～24 人権フォーラム (高野山)
- 23 第119回狭山ビラ統一行動
- 28 湯浅町町長選挙開票日

(9月)

- 2 全国生活福祉運動部長会議 (大阪市)
- 5 全国女性運動部長会議 (大阪市)
- 8 全国狭山活動者会議・住民の会交流会 (東京)
- 10 女性対策部(教育部)会議(人権啓発センター)女性対策部会議
- 12 第27回憲法の破壊を許さないランチ TIME デモ
- 23 狭山ビラ統一行動
- 25 岩出市長選挙告示
- 26 「全国部落調査」復刻出版事件第2回口頭弁論 (東京)
- 27 企業連第46回定期総会 (市民会館)

◆各市町村交渉
8/4 橋本市 9/1 和歌山市

◆各支部大会
26 那賀

◆第44回湯浅研究集会
16 全体会
18、19、22 分科会
26 まとめ

鳥取ループへの裁判 (第1回口頭弁論)

7月5日、東京地方裁判所(第103号法廷)で、被差別部落の所在が掲載された調査資料をもとにつくられた『全国部落調査』の書籍販売差し止めと鳥取ループがインターネット上に掲載している「部落関係者リスト(個人名)」における個人情報情報の不正使用についての裁判がおこなわれた。これには、原告側として個人名を記載された原告40人、あわせ、傍聴者60人が入廷。被告側は、本人と支援者1人の入廷であった。

裁判の冒頭、原告側の代表として片岡明幸・中央執行委員から、今回の裁判は①部落差別が現存するなか、部落の所在を掲載する書籍を販売する行為は差別を助長し拡散するものである。②41年前に発覚した『部落地名総鑑』事件以降、部落解放同盟をはじめ、行政や企業など多くの人によって就職差別や結婚差別を解消していくとくみみを台無しにする行為であること。

③水平社創立以降、部落差別をなくすためにとりくんできた私たちの先人の努力を侮辱する行為であることが弁論された。

つぎに、原告の弁護団から、裁判所による2回の差別書籍出版停止の仮処分にあわせ、東京地方裁判所による差別行為への勧告があったにもかかわらず、依然として書籍販売の意思は変わらず、インターネット上における個人情報の掲載は差別行為であり、現行法にもとづいても、個人情報保護法違反であるとの指摘がされた。これにたいし、被告側からの反論はなく、8月に「反論書」という形で提出されることとなった。

報告会で意志統一

次回は、9月26日に開廷されることを確認し、第1回口頭弁論が終了された。裁判後の報告会では、原告が250人を超えており、い

第39回全人保にむけ討議

まだに自分の名前等が公表されていることを知らない人が存在すること、原告が増える可能性がある。金額の問題ではないものの、原告1人あたり110万円の損害賠償請求している。裁判官などが部落差別の問題を

熟知していない状況のなかで、部落差別を丁寧にとりあげることによって裁判をすすめていくとの報告があった。

さらに、国会で提出される「部落差別の解消の推進に関する法律」の制定は、

部落解放全国保育活動者会議を7月23日、24日、京都府宇治市のコミュニティワークうじ館でひらかれ、60人の活動家に参加した。

はじめに、吉岡正博・教育文化運動部長から、参議院選挙から「戦争は最大の人権侵害」。未来ある子どもたちに「人権」「平和」「環境」を基軸に、差別に負けない子どもを育てる環境やネットワークづくりを、さまざまなとりくみのなかで広げようといきさつした。

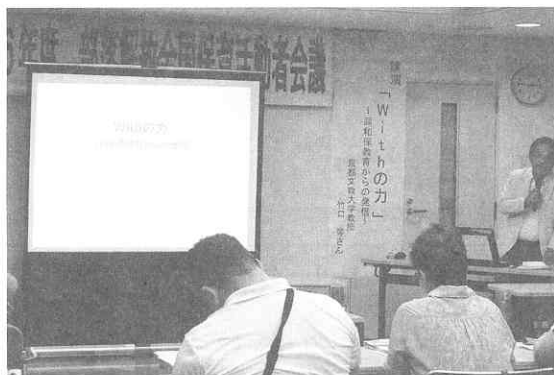
各都府県連からの報告では▽時間どおりに保育所これにない保護者には、女性部から声かけをしよう。おっちゃん、おばちゃんにいわれるほうが、響くかと思う▽市内の保育所が

松谷操・中央教育文化運動部長から第73回全国大

会での保育方針の説明について、自身の経験や支部でのとりくみを織り交ぜながら報告。竹口等・京都文教大学教授から「WILLの力」として学習・講演会があった。



来年の全人保の成功にむけ、2日間議論を重ねてほしいといあさつする吉岡教育文化運動部長



さまざまなデータを使い、講演する竹口教授

育士の人権を守らない子どもの人権も守れないなどの諸課題もあり、今後の課題が浮き彫りになった。

第39回全国人権保育研究会・部落解放第20回京都府人権・「同一保育研究

本裁判への強力な追い風となることがいわれ、本裁判

各支部で大会ひらく

●杭ノ瀬支部の定期大会が7月2日、杭ノ瀬文化会館でひらかれた。役員はつぎのとおり。
支部長 藤本 哲史

●平井支部の定期大会が7月2日、平井文化会館でひらかれた。役員はつぎのとおり。
支部長 瀧口 秀光

認定子ども園に移行する。同和保育の理念は残すよう交渉した▽市長の交代で、保育現場も大きくかわった▽東西に長い県で、連絡会として組織化が難しかったが、保育集会の開催で昔の仲間とつながることができ、若い世代の保育士にも行政にもよい影響をあたえた。ほかに▽認定子ども園で、3時に帰る子どもと残りの子どもの遊びが継続できない、保

●笠田東支部の定期大会が7月8日、笠田東児童館でひらかれた。役員はつぎのとおり。
支部長 藤井 静雄

●山口支部の定期大会が7月16日、山口教育集会所でひらかれた。役員はつぎのとおり。
支部長 小西 孝

支局からのお知らせ



お気軽にお電話を!

和歌山支局では、各支部でのとりくみを積極的に紹介していきたいと思えます。支部活動や子ども会活動など、支局までお知らせいただければ、取材に走ります。もちろん、投稿記事も大歓迎! 写真を添えて支局までお送り下さい。(発送先)〒640-08314 和歌山市神前405-3 部落解放同盟連合会内 解放新聞和歌山支局宛

の勝利を求める団結がんばろうで終了した。